

令和4年度 緑ヶ丘地区地域づくり推進委員会 研修会 報告

1 目的

先進企業である小田急電鉄様から、SDGs、カーボンニュートラルへの取組、防犯、災害対応等を習得し、地域へ反映することで、住民相互のふれあいや絆を深め、笑顔とあいさつがあふれる安心して安全な生活できる環境づくりを実践する。

2 日時 令和4年9月8日(木)

午前8時45分から午後3時30分まで

3 研修先

(1) 介護アレコレ広場

介護用品や健康補助食品等の有効的な活用方法を学び、日々の生活に取り入れることで、健康と地域づくり活動への参加意欲の増進を促進することができた。

SDGs No.3 「すべての人に健康と福祉を」

SDGs No.11 「住み続けられるまちづくりを」



(2) ロマンسカーミュージアム

小田急電鉄様から SDGs、カーボンニュートラル、防犯、災害対応などの事前資料をいただき、現地を視察したことで理解を深めることができた。

SDGs—大手企業ならではの広範囲な持続可能な開発目標を、重点施策ごとに行動指針等を立て、年次目標に向け、実行、確認、検証等をおこなっている。

SDGs No.4 「質の高い教育をみんなに」

SDGs No.7 「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」

- SDGs No.8 「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- SDGs No.11 「住み続けられるまちづくりを」
- SDGs No.12 「つくる責任 つかう責任」
- SDGs No.13 「気候変動に具体的な対策を」
- SDGs No.14 「海の豊かさを守ろう」
- SDGs No.15 「陸の豊かさも守ろう」
- SDGs No.16 「平和と公正をすべての人に」
- SDGs No.17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

カーボンニュートラルー小田急グループでは、2050年にCO2排出量実質「0」を目指すため、「カーボンニュートラル2050」を策定した。

その1⇒脱炭素社会の実現(脱炭素社会に向けた地域課題の解決等)

その2⇒資源循環社会の実現(資源循環社会に向けた地域課題の解決等)

その3⇒自然保全と活用(森・里・川等の保全、自然資源の活用)

※ 地域活動の中でも、これらの活動をスケールダウンし、身近に応用できるヒントが多々存在している。

防犯・災害対応ー安全の基本方針、安全重点施策を策定し、管理体制の構築、改善や事故を起こさない風土づくり、更には、自然災害への備えや人材育成、技術の伝承成果などを、毎年、安全報告書を作成し、検証している。

※ 安全管理における計画、実施、点検、改善への流れは、地域における安心して安全な地域づくりへのヒントが多々存在している。



(3) JAXA 相模原(宇宙科学探査交流棟)

宇宙探査機やロケットなどは、究極の SDGs であり、極限までの無駄を省き、再利用を行うなどの考え方は、ごみ減量・資源化への推進には必要不可欠であり、当委員会でも資源の大切さを地域内に発信する必要がある。

